

石坂泰三 石坂泰三 實業家。明治十九年六月二日東京生れ。昭和五十年二月六日歿（八六―一九七五）。號泰川。明治四十四年東京帝國大學法科大學卒。通信省入省、大正四年第一生命保險相互會社に轉じ、支配人、専務を經じ、昭和十二年社長。二十四年東京芝浦電気株式會社社長、二十五年日本生産性本部初代會長、翌年經濟團體連誼會（経團連）會長に就任し、財界の中心人物となる。

著書『働くことと樂しむこと』（昭和二十二年一月）『二十五百実業之日本社』（『泰川隨談』）（昭和二十六年四月）『二十五百新うしひ衣食住』等。

武石和風著『石坂泰三』（内題「財界総連石坂泰三とその孤独と死」）（昭和五十年八月十日毎日新聞社）刊。

